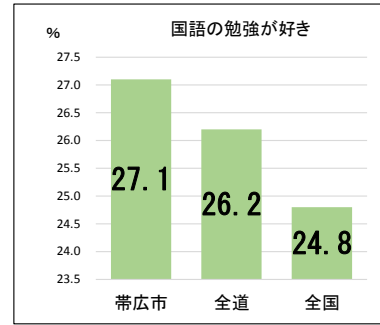


■ 帯広市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:26校、児童数:1299名)

【帯広市内の平均正答率】

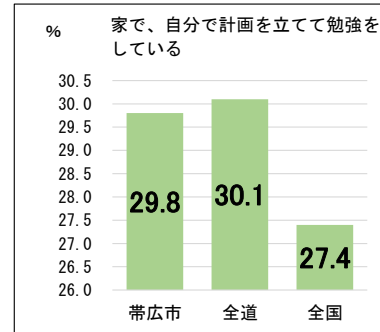
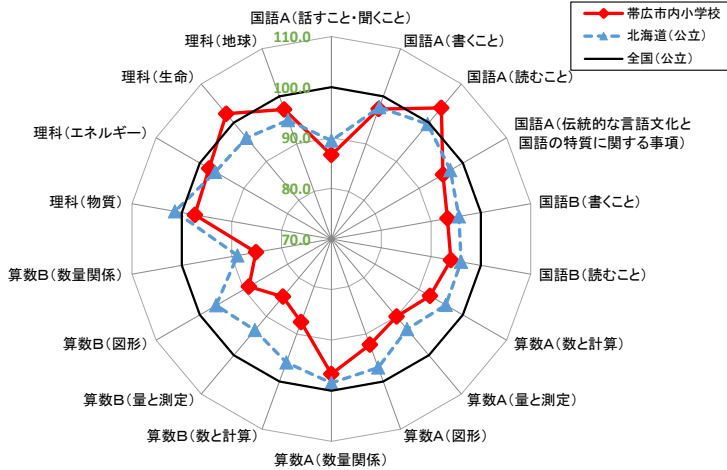
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
帯広市内	67.8	62.1	69.6	39.6	60.2

【児童質問紙調査】

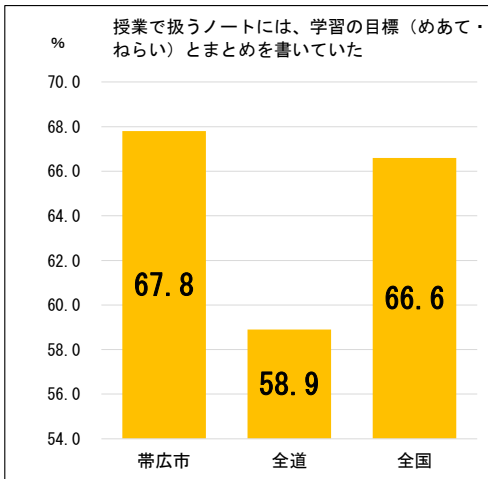


【教科全体の状況】

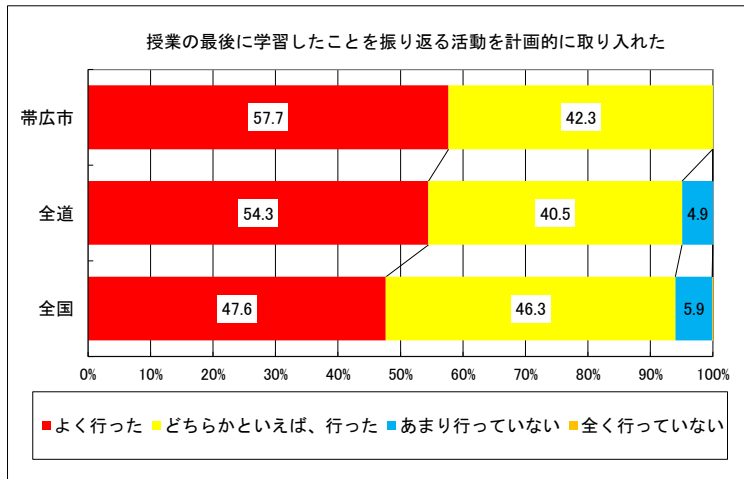
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「読むこと」、理科「生命」が、全国を上回っている。	○ 各学校で、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた指導について、全校的な取組を進めた結果、授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書く児童や、家で、自分で計画を立てて勉強をする児童が増えた。また、国語の勉強が好きな児童が増加し、特に、国語の力が付いてきていると考えられる。
児童質問紙	○ 国語の勉強が好きと回答する児童が多い。 ○ 家で、自分で計画を立てて勉強をしている児童が多い。 ○ 授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書く児童が多い。	
学校質問紙	○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた授業を行った学校が多い。	

【帯広市の学力向上策】

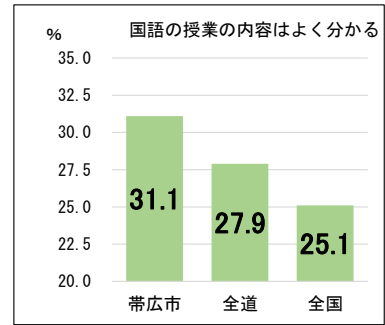
- ◎ 学力向上プロジェクトチームを編成、若手教員を対象に授業・学級経営について指導、支援(年2回の授業改善講座の開催)
- ◎ 全国学力・学習状況調査などの結果分析を踏まえた指導方法の工夫改善
- ◎ 家庭学習の時間の確保及び生活習慣の改善
- ◎ 発達の段階に応じた適切な指導の充実

**■ 帯広市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:14校、生徒数:1357名)**

**【帯広市内の平均正答率】**

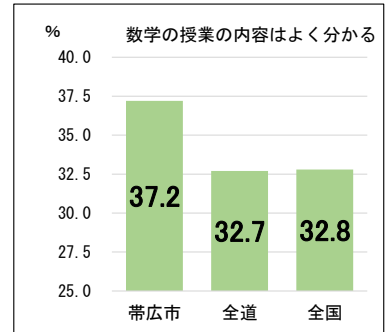
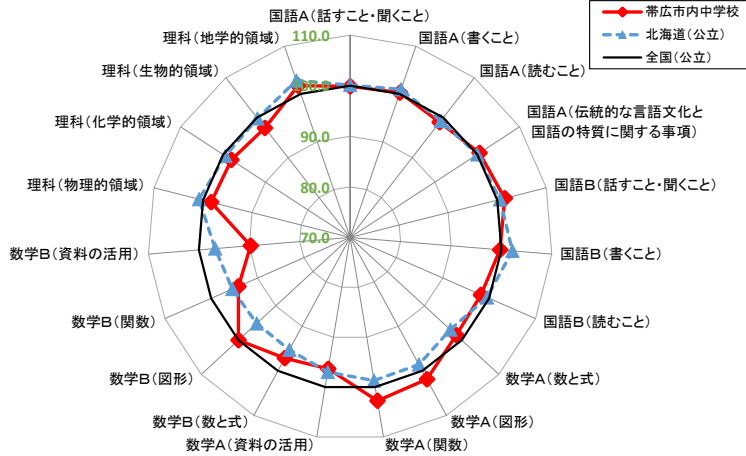
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
帯広市内	75.9	65.4	64.6	40.1	52.3

**【生徒質問紙調査】**

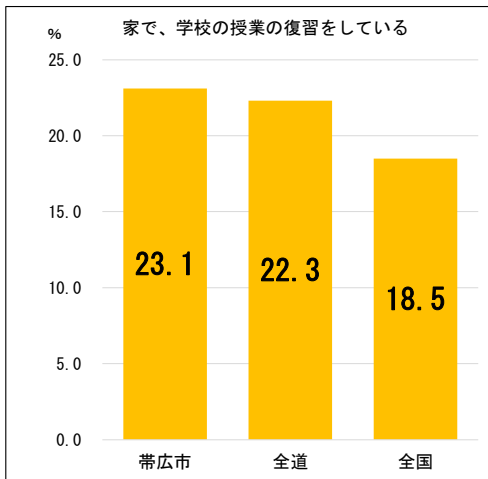


**【教科全体の状況】**

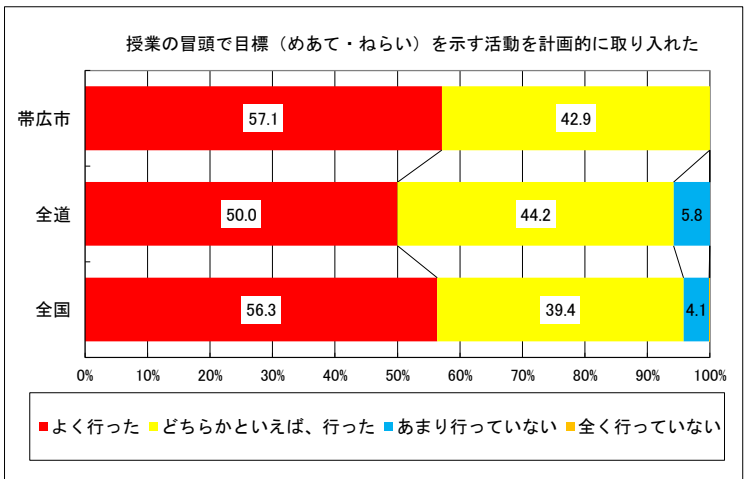
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



**【生徒質問紙調査】**



**【学校質問紙調査】**



**【分析】**

教科	○ 国語A「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語B「話すこと・聞くこと」、数学A「図形」、「関数」、理科「地学的領域」が全国を上回り、数学B「図形」が全国と同等、国語A「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、国語B「書くこと」、「読むこと」、数学A「数と式」、理科「物理的領域」が、全国とほぼ同等になっている。	○ 各学校で、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた指導について、全校的な取組を進めた結果、家で、学校の授業の復習をしている生徒が増えた。また、国語や数学の授業の内容はよく分かると回答する生徒が増加し、特に、国語A・数学Aの力が高まってきていると考えられる。
生徒質問紙	○ 国語や数学の授業の内容はよく分かると回答する生徒が多い。 ○ 家で、学校の授業の復習をしている生徒が多い。	
学校質問紙	○ 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた学校が多い。	

**【帯広市の学力向上策】**

- ◎ 全国学力・学習状況調査などの結果分析を踏まえた指導方法の工夫改善
- ◎ 家庭学習の時間の確保及び生活習慣の改善
- ◎ 発達の段階に応じた適切な指導の充実